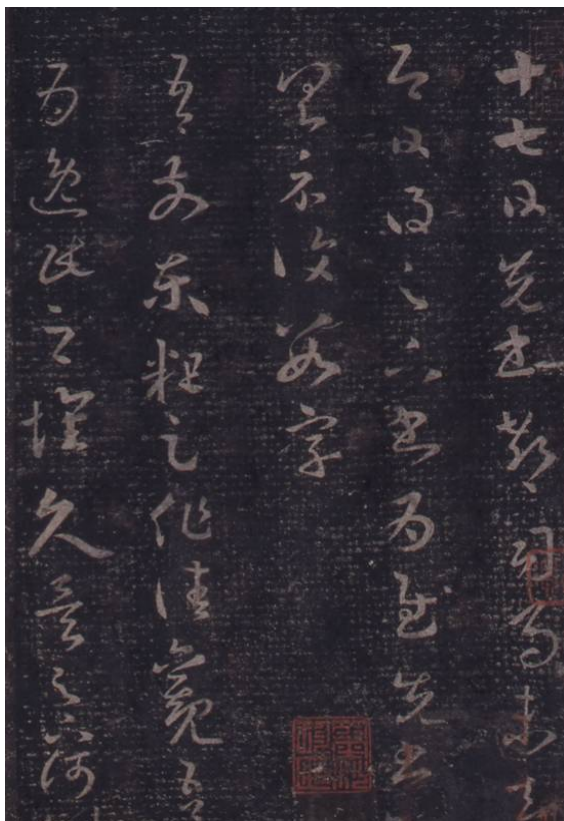


集める・楽しむ・伝える

関西 中国書画 コレクション 展 企画書

珠玉の名品に会える、9会場 全17回の展覧会



王羲之「十七帖」宋拓(東晋 京都国立博物館)



伝李成「喬松平遠図」(北宋 澄懷堂美術館)



関西中国書画コレクション展ロゴマーク

2011. 1/8 (土) ~2012. 2/26 (日)

【参加館 計9館 (50音順)】

和泉市久保惣記念美術館 大阪市立美術館 観峰館
京都国立博物館 黒川古文化研究所 泉屋博古館
澄懷堂美術館 藤井齊成会有鄰館 大和文華館

【協力】渋谷区立松濤美術館

【助成】公益財団法人 花王 芸術・科学財団 公益信託 タカシマヤ文化基金 公益財団法人 野村財団

開催主旨：

関西には、数多くの中国書画が収蔵されています。今からちょうど百年前の中国では清朝が倒壊し、貴重な書画が欧米へと次々に流出していきました。これを憂えた内藤湖南(こなん 1866-1934)らの京都学派の学者たちは、中国文化に理解を持つ関西の政財界の人士にその蒐集を呼びかけ、世界的にも著名な中国書画のコレクションが関西に多数生まれました。それらは、現在では複数の美術館・博物館の所蔵となっており、近年には他地域からの新たな寄贈も加わって更なる充実を見せています。これら質の高い数々のコレクションが、半径 100 キロに満たない範囲に集中していることは、北京、上海、台北等にもひけを取らない関西地区の特色であり、大きな文化的遺産です。

けれども、この文化・歴史に密着して形成された関西の中国書画コレクションの魅力や価値が広く知られているとは言い難いのが現状です。コレクションの成り立ちと、それに関わった人々の記憶も急速に風化し、中国大陸の経済的發展によって、民間に伝えられた貴重な中国書画が近年再流出するという事態も起こっています。

そこで、それらの書画が日本にもたらされ始めてから一世紀になる 2011 年に、コレクションを有する関西の美術館、博物館の担当学芸員・研究員が一丸となって、蒐集した人々の思いを受け継ぎ、その価値を次世代に伝えるために企画されたのが、今回の「関西中国書画コレクション展」です。2009 年 9 月に京都大学名誉教授の曾布川寛氏を監修に迎えて、「関西中国書画コレクション研究会」を結成し、準備を重ねてきました。計 9 館が 1 年余りに渡って中国書画をテーマとする全 17 回の展覧会を次々に開催していきます。自館の所蔵品はもちろん、特別展や企画展による特別出品を行う館もあります(詳細な日程は 10 頁をご覧ください)。ぜひこの機会に関西に集った中国書画の珠玉の名品をご堪能ください。

付帯事業：

2011 年 1 月～2 月に、京都大学文学研究科主催(関西中国書画コレクション研究会協力)の市民講座「関西中国書画コレクションと京都大学」が開催され、秋には本研究会主催の国際シンポジウムの開催も予定しています(日程は後日決定)。また、各館の代表的な作品と、そのコレクションを築いたコレクターや関係人物を紹介する書籍、曾布川寛監修、関西中国書画コレクション研究会編『中国書画探訪 関西の収蔵家とその名品』(二玄社、2011 年 1 月下旬刊行)も発売中です。

展示のみどころ

1、千数百年におよぶ、中国書画の名品が関西に一堂に会します！

展示されるのは、東晋の王羲之（4世紀）から20世紀初頭の近代にいたるまで、中国書画の名品が揃います。約一年間にわたって展示される総数は700点以上（！）に上ると予想されます。中国書画の真髄に触れる、またとない機会です。

2、コレクターたちの熱い思いがよみがえります！

関西のコレクションは、偶然に集まったものではありません。中国書画を愛好し、伝えてきたコレクターたちの思いの結晶です。蒐集に関わった学者や文化人、骨董商等の交遊関係にも触れながら、彼らの思いが伝わる展示を行います。

<会場9館 所在略地図>



「関西中国書画コレクション展」公式ガイドブック

『中国書画探訪 関西の収集家とその名品』

曾布川寛監修、関西中国書画コレクション研究会編
二玄社、2011年1月発売 定価 2800円＋税



資料 1

参加館（50音順）と、その書画コレクションを蒐集した人物 紹介頁

和泉市久保惣記念美術館（和泉市）・・・林宗毅（1923-2006 実業家）	9 頁
大阪市立美術館（大阪市）・・・・・・阿部房次郎（1868-1937 東洋紡績社長）	5 頁
観峰館（東近江市）・・・・・・原田観峰（1911-1995 書家）	9 頁
京都国立博物館（京都市）・・・・・・上野理一（1848-1919 朝日新聞創業者）	4 頁
同上・・・・・・須磨弥吉郎（1892-1970 外交官）	8 頁
黒川古文化研究所（西宮市）・・・・黒川幸七（1871-1938 証券会社社長）	6 頁
泉屋博古館（京都市）・・・・・・住友春翠（1864-1926 実業家）	
住友寛一（1896-1956 美術收藏家）	7 頁
澄懷堂美術館（四日市市）・・・・・・山本悌二郎（1870-1937 政治家）	5 頁
藤井斉成会有鄰館（京都市）・・・・藤井善助（1873-1943 実業家）	6 頁
大和文華館（奈良市）・・・・・・矢代幸雄（1890-1975 美術史学者）	7 頁

主なコレクターと名品のご紹介



上野理一(1848-1919)
朝日新聞の創業者のひとり。号は有竹斎。内藤湖南と親しく、その助言を受けて晩年は中国美術の蒐集に意を注いだ。1960年に、子息の同社社主上野精一により、京都国立博物館に寄贈され、2010年で50周年を迎える。



内藤湖南(1866-1934)
京都帝国大学教授。京都学派の領袖として活躍し、関西地区の中国書画コレクション形成に大きな役割を果たした。



惲寿平「花陽夕陽圖」（清 京都国立博物館）
惲寿平は清朝正統派の大家の一人。江戸時代まではほとんど入ってくることのなかった、中国文人書画の主流に属する作品を、上野は系統的に蒐集していった。

京都国立博物館(京都市)
「上野コレクション寄贈 50周年記念 筆墨精神—中国書画の世界—」 2011年1月8日(土)～2月20日(日)
同時開催「生誕125年記念 篆刻家 園田湖城」



山本悌二郎(1870-1937)

政治家、実業家で、田中義一・犬養毅内閣の農林大臣をつとめた。膨大な中国書画を蒐集し、『澄懷堂書画目録』にまとめられた。その多くが澄懷堂美術館に継承される。

伝李成「喬松平遠図」(北宋 澄懷堂美術館)

山本悌二郎の旧蔵品。戦後、東京から現在の地に移され、大切に守られてきた。北宋絵画を代表する名品で、華北山水画の大家・李成の真筆に最も近いとされる。

澄懷堂美術館(四日市市)

「中国書画名品展Ⅴ」2011年2月27日(日)～6月5日(日)

「祝賀と祥瑞」(仮称)2011年9月11日(日)～12月11日(日)

阿部房次郎(1868-1937)

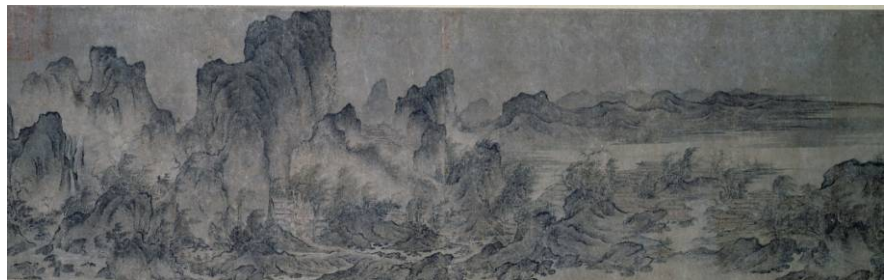
実業家。東洋紡績の社長として活躍し、内藤湖南などの助言を受けながら、辛亥革命によって流出する中国絵画を蒐集し続けた。そのコレクションは、子息孝次郎によって、昭和18年、大阪市立美術館に寄贈された。



燕文貴「江山樓觀図」

(北宋 大阪市立美術館)

大正、昭和初期には、従来までの「宋元画」にとらわれない新しいタイプの中国画が大量に流入し、コレクター達は一様に魅了された。本図は、その一例。



大阪市立美術館(大阪市)

「中国書画Ⅰ-館蔵・寄託の優品」(仮称)2011年9月17日(土)～10月16日(日)

「中国書画Ⅱ-阿部コレクション」(仮称)2011年10月20日(木)～11月23日(水・祝)

「中国拓本-師古齋コレクション」(仮称)2012年1月7日(土)～2月5日(日)



4代藤井善助 (1873-1943)

近江出身の実業家。内藤湖南、長尾甲などの助言を受けて中国美術を多く蒐集し、有鄰館を開設した。現在も平安神宮前に、大正十五年(1926)そのままの展示施設で公開されている。



有鄰館 第一館 内部



呉偉業書・王時敏画「菖蒲石寿図」

(清 藤井齊成会有鄰館)

明末清初の代表的な文人による、詩と画の合作。詩には、明の皇帝への思慕の念が込められている。

藤井齊成会有鄰館 (京都市)

「指定文化財等 中国書画特別展」2011年5月 第1、第3日曜日

「指定文化財等 中国書画特別展」2011年11月 第1、第3日曜日



二代黒川幸七(1871-1938)

黒川証券を営む傍ら、内藤湖南や羅振玉、犬養毅などと交流し、中国書画、青銅器、刀剣等を幅広く蒐集した。

伝董源「寒林重汀図」

(五代 黒川古文化研究所)

二代黒川幸七が戦前に活躍した美術商、博文堂から入手した。10世紀、五代の江南山水を代表する名品。

黒川古文化研究所 (西宮市)

「黒川古文化研究所名品展 中国書画—受け継がれる伝統美—」2011年4月16日(土)～5月15日(日)

「中国の花鳥画—彩りに込めた思い—」

2011年10月15日(土)～11月13日(日)



羅振玉(1866-1940)

清朝の考証学者。辛亥革命後、京都に亡命し、内藤湖南らと交遊。多くの中国書画を関西にもたらした。



住友春翠(1864-1926) 住友寛一(1896-1956)

春翠は住友家第十五代で、中国趣味に彩られた生活を送り、青銅器や文房具を蒐集した。寛一はその長子で、石濤、八大山人などを蒐集、明清画コレクションの質の高さでは世界随一と言われている。

八大山人「安晩帖」(清 泉屋博古館)

明末清初の遺民画家、八大山人の代表作。近代洋画の巨匠岸田劉生もまた中国絵画に傾倒、寛一とは深い交流をもった。劉生も八大山人の1点を所持していたが、寛一の安晩帖を見て、自らの所蔵品が贋作であることを悟ったと言う。

泉屋博古館 (京都市)

「住友コレクションの中国絵画」2011年9月3日(土)～10月23日(日)



矢代幸雄(1890-1975)

イギリス・イタリアに留学した美術史学者。帰国後、近鉄の依頼で大和文華館開設に尽力し、初代館長を務めた。

「閻相師像」(清 大和文華館)

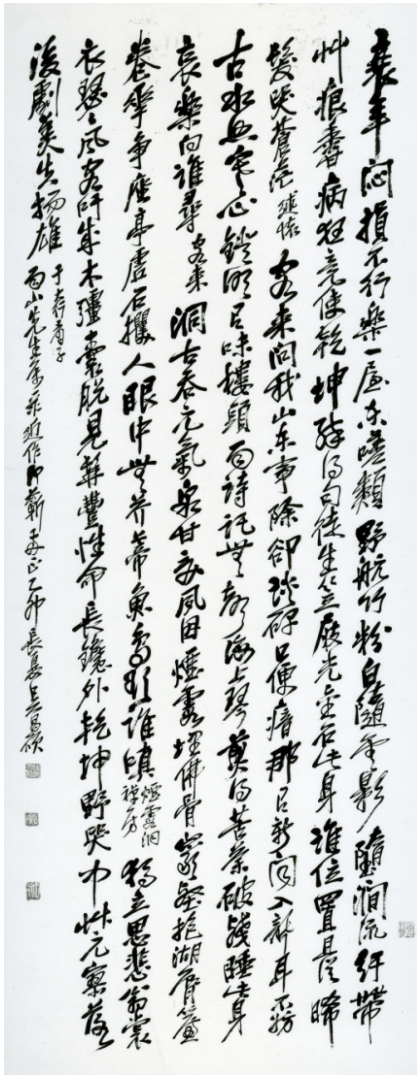
かつて北京紫禁城の紫光閣にあった清朝の宮廷肖像画。義和団事件で流出、近年アメリカの美術商の手を経て、日本にもたらされた。世界各国に十余幅が確認されている。



大和文華館 (奈良市)

「中国美術コレクション展」

2011年11月19日(土)～12月25日(日)



吳昌碩「贈兩山詩」(清～近代 京都国立博物館)

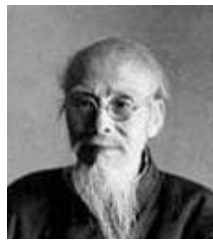
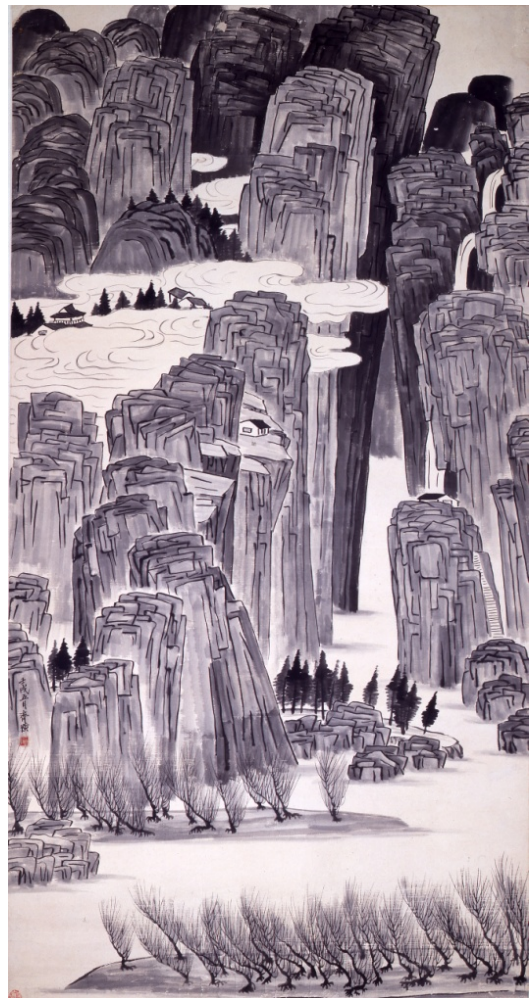
“兩山”とは、日本の漢学者、長尾甲のこと。本作は上海画壇の領袖、吳昌碩が長尾甲に贈ったものである。関西地区にはこのような、近代の日中の書画を通じた文化交流を示す作品が多く残されている。



吳昌碩(1844-1927)



長尾甲(1864-1942)



須磨弥吉郎(1892-1970) 齊白石(1863-1957)

齊白石「宋法山水圖」(近代 京都国立博物館)

須磨弥吉郎は、11年におよぶ中国での外交官生活の中で多くの画家と交流し、中国書画を蒐集した。特に齊白石をいち早く高く評価した。須磨コレクションを代表する傑作。

京都国立博物館(京都市)
「中国近代絵画」展(仮称)
2012年1月7日(土)～2月26日(日)



林宗毅(1923-2006) 台北市板橋の林本源家・定静堂

台湾を代表する名家の出身で、日本、アメリカを中心に活躍した実業家。膨大な中国書画を蒐集し、台北・故宮博物院、東京国立博物館、和泉市久保惣記念美術館に寄贈された。

劉海粟「翡翠芙蓉図」

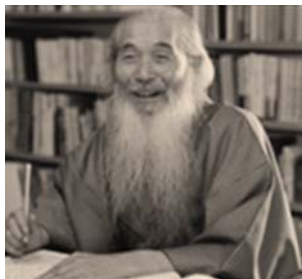
(近代 和泉市久保惣記念美術館)

本作は、上海を中心に活躍した大家、劉海粟の作で、1930年、ペルー、リマでの旅中の作。林宗毅は近代絵画の価値をいち早く認め蒐集した。

和泉市久保惣記念美術館 (和泉市)

「近代中国絵画一定静堂コレクションの名品一」

2011年6月11日(土)～7月31日(日)



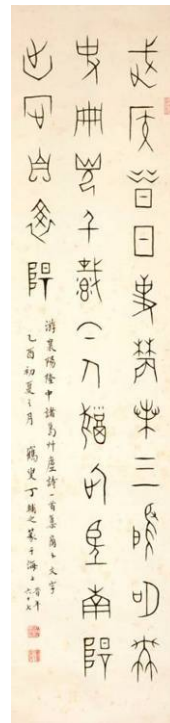
原田観峰 (1911-1995)

書道家。文化大革命時代より中国を幾度も訪問し、幅広く交遊、近代を主とする書画収集を行った。その数は二万点に及ぶとされ、今なお整理、調査が継続中である。

丁仁「甲骨文七言絶句」(近代 観峰館) 左

陶冷月「夜景図」(近代 観峰館) 右

伝統画法と西洋画法を融合させた陶冷月など中国美術は近代に新たな展開を見せる。観峰館は中国近代美術の知られざる宝庫。いま、世界の研究者の熱い注目を集めている。



観峰館 (滋賀県東近江市)

「没後百年 銭慧安展」(仮称) 2011年4月16日(土)～6月19日(日)

「生誕百年 原田観峰が蒐集した中国書画展」 2011年6月25日(土)～8月28日(日)

「中国近代書画コレクション展」 2011年9月3日(土)～12月11日(日)

資料 2

関西中国書画コレクション展 開催予定（会期・タイトルは変更される場合があります）

【2011年】

- ① 1/8(土)～2/20(日) 京都国立博物館 「上野コレクション寄贈 50周年記念 筆墨精神
—中国書画の世界—」
- ② 2/27(日)～6/5(日) 澄懷堂美術館 「中国書画名品展Ⅴ」
- ③ 4/16(土)～5/15(日) 黒川古文化研究所 「黒川古文化研究所名品展 中国書画
—受け継がれる伝統美—」
- ④ 4/16(土)～6/19(日) 観峰館 「没後百年 錢慧安展」(仮称)
- ⑤ 5月 第1、第3日曜日 藤井齊成会有鄰館「指定文化財等 中国書画特別展」
- ⑥ 6/11(土)～7/31(日) 和泉市久保惣記念美術館
「近代中国絵画—定静堂コレクションの名品—」
- ⑦ 6/25(土)～8/28(日) 観峰館 「生誕百年 原田観峰が蒐集した中国書画展」
- ⑧ 9/3(土)～10/23(日) 泉屋博古館 「住友コレクションの中国絵画」
- ⑨ 9/3(土)～12/11(日) 観峰館 「中国近代書画コレクション展」
- ⑩ 9/11(日)～12/11(日) 澄懷堂美術館「祝賀と祥瑞」展(仮称)
- ⑪ 9/17(土)～10/16(日) 大阪市立美術館「中国書画Ⅰ—館蔵・寄託の優品」(仮称)
- ⑫ 10/15(土)～11/13(日) 黒川古文化研究所「中国の花鳥画—彩りに込めた思い—」
- ⑬ 10/20(木)～11/23(水・祝) 大阪市立美術館「中国書画Ⅱ—阿部コレクション」(仮称)
- ⑭ 11月 第1、第3日曜日 藤井齊成会有鄰館「指定文化財等 中国書画特別展」
- ⑮ 11/19(土)～12/25(日) 大和文華館「中国美術コレクション展」

【2012年】

- ⑯ 1/7(土)～2/5(日) 大阪市立美術館「中国拓本—師古齋コレクション」(仮称)
- ⑰ 1/7(土)～2/26(日) 京都国立博物館「中国近代絵画」展(仮称)